

リアル政治学院 報告書

静岡県立大学

国際関係学部

国際言語文化学科

ヨーロッパコース

フランスに留学していた9カ月の間を振り返ると、その間に見聞きしたこと、体験したことのすべてが日本では決して得られなかったものばかりで、大きな成長の糧となったと感じる。特に、私にとっては海外に行くこと自体が初めてであったため、日常の些細なことに至るまで全てが新鮮で驚くことばかりであった。フランスにいた間に得た経験とそれによって得られた成長を、学校生活、日常生活、留学で得られたものの3つに分けて述べていきたい。

まずは、学校生活について述べる。私は北フランスのノール県にあるリールのSciences Po Lilleに通った。Sciences Po Lilleは、リール政治学院という日本名の通り、政治学に特化した学校である。さらに、大学ではなくグランゼコールというフランスにおける大学と並ぶ高等教育機関であった。レベルも高く、政府官僚を目指す人なども多い中で学ぶことができた。授業では留学生の数が多く、様々な国から来ている学生がいるため、通常の授業の中で国の違いを実感することができた。さらに、学生が積極的に挙手して発言する姿も多く見られるほど学ぶ学生の意欲も高く、とても良い刺激を得ることができた。特に記憶に残っているのは秋学期に受けた「Un settled questions about

the EU」という授業である。この授業では、毎時間違う議題をテーマに、担当生徒が主に自国とフランスの状況を中心にプレゼンテーションを行い、それを踏まえて教授がフランスの状況の授業をする。環境問題から労働、教育など、テーマは様々な分野に渡る。毎週テーマが変わるため、予習や授業を経て抱く疑問や関心は尽きず、得られるものがとても濃い内容であった。

次に、私が学校外の活動として行っていた高校の日本語クラスでのボランティアについて述べる。私は近隣にある Montebello という高校の国際科の日本語クラスで週 2 回ほど授業のサポートとしてボランティアを行った。このボランティアでは、日本語に関する授業の補助をし、代わりに週末に学生の家を招いてもらい文化体験をさせてもらうというものだった。フランス語・英語で日本語を教えるという行為を通し、日本にいた頃よりも自分が育ってきた日本という国を外から見て考えることができた。さらに、日本に興味を持ってくれて日本語を一生懸命に学んでいる高校生たちに日本語を教えることは、もっとスムーズに教えてあげるために私自身の言語学習を頑張ろうというモチベーションに繋がり、とても良い刺激となった。また、週末にはボランティアの報酬として日本語教室の学生の家を招かれ、文化体験をさせてもらった。私はアパートでの生活であったため、フランスの一般的な家庭の食事に相席させてもらい、フランスのいろんな家族の 1 日の過ごし方を一緒に体験させてもらえたことは、フランス文化への理解に繋がった。フランスは人種も様々であり、私が招いてもらった家も、フランスにル

ーツを持つ家庭、フランスと他の国の国際婚により文化が混ざった家庭、移民として越してきた家庭などと様々であった。食事も様々で、家庭によっていろんな国にルーツを持つ料理を体験させてもらった。時に作り方を教えてもらったり、作るのを手伝わせてもらったりもさせてもらい、さらに別の日にはお礼に日本料理を振る舞ったりと異文化交流をすることができた。

最後に、この留学の間に経験し得られたものについて述べたい。ヨーロッパでは、シェンゲン協定によってヨーロッパ内の移動が非常に簡単である。私自身も、休暇を通して幾つかの国々を巡り歩いた。私はこの留学をするまで一度も外国に行ったことがなく、いくら事前に調べたり先輩や経験者に話を聞いても、実際に留学をするまで「自分にできるのか」という不安を感じていた。そのため、着いた当初は初めての空港チェック、初めての海外のメトロやバス、初めての海外のレジなど、何をするにもドキドキと緊張した。そして、緊張しながらも、行く前には想像もできなかったことを少しずつ経験していくうちに、明確に「できる」と自信を持って言えることが増えていった。航空券やバスのチケットを取って、知らない場所に自分の足で行って、それまで知らなかったことをする。今まで大学の勉強で学んだものを実際に見る。知らない人から話を聞く。そう言った積み重ねの一つ一つが大きな自信へとつながった。また、この留学の間に出会ったたくさんの人との会話を通して、それまで日本にいた時には考えられなかった生き方を知った。このことは、これから就職活動を始める前に将来のこと、自分のことを

考える材料となった。この留学で経験できたことは、この留学をしたのとしていないの
とでは人生が変わるくらい大きな出来事となった。また、海外経験のない中で留学をす
るに当たり、フランスに行く前も行ってからたくさんの人に助けってもらって最後まで
留学を成し遂げることができた。周りへの感謝を忘れずに、この留学で得られた経験、
感じたこと、気付くことができたことを、これからの自分の人生で大切にしていきたい。